

記者発表資料

～道の駅めぬまと立正大学との連携～ 地域における新たな価値の創造を連携企画します。

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、立正大学と道の駅めぬま及び大宮国道事務所3者で連携企画型の実習を実施することとなりましたのでお知らせします。

この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いのニーズを確保し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。(詳細は、別途資料参照)

【実施内容】

■道の駅めぬまと国宝「めぬましょうでんざん妻沼聖天山かんぎいんしょうでんどう(**歎喜院聖天堂**)」の連携促進

- ・学生による観光情報発信
- ・新たな観光資源マップの作成

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所
計画課長: 藤坂 幸輔(ふじさか こうすけ)
住所: 埼玉県さいたま市北区吉野町1-435 電話: 048-669-1200(代表)

立正大学

地球環境科学部長: 松井 秀郎(まつい ひでお)
住所: 埼玉県熊谷市万吉1700 電話: 048-539-1630(学部事務室)

道の駅めぬま

めぬまアグリパーク所長: 新井 房男(あらい ふさお)
住所: 埼玉県熊谷市弥藤吾720 電話: 048-567-1212(めぬまアグリパーク管理事務所)

道の駅めぬまと立正大学との連携

道の駅めぬまと立正大学の学生が連携して、道の駅と国宝「妻沼聖天山(歓喜院聖天堂)」を核とした地域活性化に向け、観光情報発信、観光資源マップの作成等を行います。

■道の駅めぬまと国宝「妻沼聖天山(歓喜院聖天堂)」の連携促進

1. 学生による観光情報発信

- ・イベント時に道の駅内に学生による観光案内デスクを設置
- ・道の駅を拠点とした観光モデルルートを紹介
- ・道の駅の来場者のニーズを、アンケート調査、分析により確認

2. 新たな観光資源マップの作成

- ・学生が道の駅から妻沼聖天山までのフィールドワーク調査等により新たな地域資源を発掘
- ・道の駅と妻沼聖天山を拠点とする新たな観光資源マップとして取りまとめ

立正大学

立正大学は(所在地:東京都品川区および埼玉県熊谷市)、2012年に開校140周年を迎えた歴史と伝統のある総合大学で、「人間・社会・地球(環境)」に関する8学部15学科を有しています。

今回、参画する地球環境科学部地理学科では、人文・自然の両面から地域の事象を把握し、問題点を探っていきます。2014年に大学が文部科学省の大学教育再生加速プログラムに採択されたことを受け、双方向授業やフィールドワークの充実など、学生がよりアクティブに学べる教育環境を整備し、新しいスタイルの授業を展開しています。

また、学生がまちづくり活動に参加する場として熊谷市妻沼地区の観光まちづくりを取り上げ、2015年3月に地理学科学生取材による「めぬま観光読本。」を発行しています。



妻沼聖天山歓喜院(熊谷市HPより)

本殿「聖天堂」は約830年前に、源平合戦の英雄、斎藤別当実盛により開かれたとされ、現在の建物は、宝暦10年(1760)に完成しました。

日光東照宮を彷彿させる本格的装飾建築で、その精巧さゆえに「埼玉日光」と称され、国宝に指定されています。



道の駅めぬま

花や野菜をテーマにしたアグリパーク内の「めぬぱる」では、ジェラートをはじめ、妻とろ御膳、ジャンボいなり寿司が人気です。バラ園では、約400種2,000株の鮮やかなバラを楽しむことができます。新鮮野菜はめぬま物産センターで販売されています。

